

ニプロ、男性育休を考えるプロジェクト「IKUKYU.PJT」に賛同

～ライフイベントをキャリアにつなげ、働きがいある職場づくりを推進～

ニプロ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役 社長執行役員:山崎 剛司、以下「ニプロ」)は、積水ハウス株式会社が推進する、男性の育児休業(以下、「育休」)について社会とともに考えるプロジェクト「IKUKYU.PJT」に賛同します。

ニプロでは、従業員一人ひとりが、高いエンゲージメントのもとでオーナーシップを発揮し、組織目標の達成と個人の成長を両立できる職場づくりに取り組んでいます。その一環として、育休制度や育児短時間勤務制度の整備、キャリア形成を支援する研修の拡充など、仕事と育児の両立を支援しています。

ニプロでは、男性従業員の育休取得率を 2027 年度に 80.0%とすることを目標に掲げており、取得率は 2023 年度の 36.6%から 2025 年度には 72.0%に向上いたしました。さらに、2025 年度に子どもが生まれ、育休を取得した男性従業員を対象に社内アンケートを実施し、取得期間や育休中の過ごし方や復職後の働き方に関する課題の把握を進めています。

また、医療機器・医薬品の安定供給を支える人材の確保・育成の観点からも、誰もがライフステージにかかわらず能力を発揮し、働き続けられる職場環境づくりを重要な経営課題と位置付けています。こうした考えのもと、2026 年 9 月 15 日には、育休を取得した従業員の体験談を通じて、男性育休の意義や家族との関わり方を考える社内セミナーを開催しました。

今後も育休の取得者本人だけでなく、将来育児に関わる可能性のある従業員や、育休取得者を支える上司・同僚にも学びの機会を提供し、育児を一部の従業員だけの課題とせず、組織全体で支えあう職場風土の醸成を進めてまいります。

【上席執行役員 総務人事本部長 CHRO 中村 秀人】

ニプロでは、エンゲージメントを「働きやすさ」と「やりがい」の両輪で捉え、組織と従業員が相互に信頼し合い、理念や目標に共感するとともに、働きがいを持って自律的に行動する状態を目指して日々取り組んでいます。育児と仕事の両立支援もその重要な取り組みの一つです。今後も、誰もがライフイベントを成長の機会と捉え、キャリアにつなげながら活躍できる環境を整えることで、従業員のエンゲージメント向上と企業価値の向上、さらには社会への貢献につなげてまいります。

《「IKUKYU.PJT」について》

積水ハウス株式会社が推進する「IKUKYU.PJT」は、「男性の育児休業取得が当たり前になる社会」の実現を目指して、2019 年にスタートした社会的プロジェクトです。2026 年度には 195 の企業・団体が賛同しました。また、男性の育児休業について、社会とともに考えていくきっかけをつくりたいという思いから、9 月 19 日を「育休を考える日」として制定されています。詳細は、以下の公式ウェブサイトをご覧ください。

[IKUKYU.PJT\(男性の育児休業・育休取得推進\) | 積水ハウス](#)

お問い合わせ先

ニプロ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 PR室 TEL 06-6310-6650

※受付時間:9 時～17 時 45 分(土・日・祝日・当社休業日を除く)